

年 組 名前：

問1

こうふしりつしょうちゅうがっこう
甲府市立小中学校の

じどうせいと ひとりいちだい
児童生徒が1人1台で

りょう たんまつ
利用するタブレット端末で、

でんししょせき りょう
電子書籍を利用できる

サービスを始めた

しせつめい こた
施設名を教えてください。

.....

問2

このサービスには、

どんな利便性がありますか。

.....

.....

.....

問3

じどうしょせきいがい ほん じゅんび
児童書籍以外に、どのような本が準備されていますか。

.....

問4

あなたは、このサービスを、どのように利用したいと思いますか。

.....

1人1台端末で読書

甲府市立図書館 小中生に電子書籍



1人1台端末で利用できる電子書籍サービスの画面

甲府市立図書館は、市立小中学校の児童生徒が1人1台利用するタブレット端末で、電子書籍を利用できるようにするサービスを開始した。本に触れる機会を増やし、子どもの読書活動を推進するのが目的。児童生徒は専用のIDを使って、学校や自宅でも電子書籍を読むことができる。図書館によると、公共図書館が1人1台端末と連携して電子書籍サービスを行うのは県内で初めて。

市立図書館は2022年11月、電子書籍サービスを開始した。通常のサービスで本を借りるには図書館の利用者カードが必要だが、児童生徒はカードがなくても指定のIDで利用することができる。各目録のタブレット端末のトップ画面には、電子書籍サービスのアイコンを設定した。利用ルールは一般と同じ。休み時間や自宅で読書したり、調べ学習に活用したりしてもいい。長期休みに、図書館へ足を運ばなくても本を読めるなどの利便性もあるという。

電子書籍サービスは昨年12月時点で836点を扱っている。このうち同時アクセス数に制限がない児童書籍が50点あり、複数人が同時に同じものを読める。他に学習漫画や図鑑、絵本などもある。専用IDは教職員にも付与した。市立以外の市内の小中学校でも準備ができ次第、同様のサービスを提供する予定で、一部で利用が始まっている。図書館の担当者は「気軽に

〈杉原みずき〉

(2024年1月13日付 山梨日日新聞 18面)

に本に親しんで、興味を広げるきっかけにしてほしい」と話している。